



令和6年10月29日(火) 川崎市立西丸子小学校

## 木々や花々に囲まれて

川崎市立西丸子小学校 校長 筒井愛子

日中はまだ汗ばむ日もありますが、過ごしやすい季節になりました。長引く残暑の中でも、西丸子小学校の緑豊かな庭は、少しずつ秋の色に変わりつつあります。

先日はお忙しい中、学習面談にお越しいただき、ありがとうございました。職員からも、「保護者の方とお話が、とても楽しかった。」「保護者の方がお子さんを大切に育てておられる気持ちが伝わってきた。」などの声をたくさん聞くことができ、職員にとっても有意義な時間になったようです。大切なお時間をありがとうございました。おかげさまで、子どもたちは落ち着いた様子で後期のスタートを切ることができました。この時期は、校外学習に出かける学年もあり、学校の雰囲気はますます活気にあふれています。

さて、10月21日に、センター級の子どもたちが、お隣の等々力緑地に、「全国都市緑化かわさきフェア」の見学に行きました。皆様のお手元にも、児童を通じて、お知らせが配付されていることと存じます。令和6年度は、皆様もご存じの通り、川崎市制100周年で、各地でいろいろなイベントが行われています。このフェアもそのイベントの一つですが、子どもたちは見て楽しむだけではなく、実は育てる場面でも協力をしているのです。その協力とは、肥料などを混ぜた土に種を植え付けた「たねだんご」というものを児童が作るというものです。「たねだんご」は、校内だけではなく、いろいろな場所に植えられます。西丸子の子どもたちが作った「たねだんご」が、市内のあちらこちらで花を咲かせることを考えますと、わくわくします。本校のセンター級では、毎年、合同授業で栽培活動を行っています。C棟の入口左側にあるセンター級の畑に、季節の野菜がたくさん実っているのをご覧になった方も多いのではないかと思います。前期の終業式では、センター級の代表児童が、「前期は栽培活動を頑張りました。後期も頑張ります。」と、発表していることから、センター級の子どもたちにとって、栽培活動はとても楽しい学習であり、力を入れていることがうかがえます。「たねだんご」は、「小さな種も扱いやすくなる」「土が乾きにくい」などの点から、「植物が発芽しやすくなる」というメリットがあるうえに、この活動自体も楽しいということで、市から小学生に依頼されました。本校では、この「たねだんご」作りに、センター級、1、2年生が挑戦します。

さて、いよいよ11月に入ります。西丸子小学校の創立70周年記念式典まで、あと1年余りとなりました。先日、地域の方から、「式典はいつですか。」というご質問をいただきましたが、昨年度末にスタートした実行委員会で、2025年11月8日(土)に決定しております。すでに実行委員会も第4回を終了し、着々といろいろなことが決まる中ですが、このイベントこそ、地域の皆様、保護者の皆様のお力なしには実施できないものです。必要な決定事項等は、随時お知らせしていきたいと存じます。ご協力をお願いいたします。